

「子育て」「子育て」支援のはざまで

(中)

表参照。「コスト削減のため」と外搬を推進する自治体は、「他の子育て支援策の拡充ができた」と主張する。一方で、保育関係者からは、「乳幼児の生活の大きな比重を占める食まで」「全ての子どもに保障するだけの予算確保をすべき」と、子ども予算全体の削減傾向を懸念する声は大きい。味覚が培われる乳幼児期の食、その在り方が今、問われている。

給食外部搬入の波紋

保育所「子どもの実態と隔たり」

自治体「経費減、他の支援策拡充」

保育所給食の外部搬入(以下、外搬)が進んでいる。本来、自園調理が原則だが、平成16年に構造改革特区を活用した公立保育所の外搬が解禁となり、22年には公私を問わず3歳以上児で容認された。

愛知県豊橋市の明照保... 保育(社福、園児254人)。「隠し味は何でしょう。午前11時半は、ガ?」。調理員の星野朱... ラス張りの調理室から漂... 美さんが5歳児2人の食... べてくる昼食の匂いが漂... べる姿に目を細めつつ、



「隠し味は何か?」—明照保育園の「味見当番」

近年の保育所給食をめぐる制度の動き

平成10年3月	保育所の調理室と幼稚園の給食施設の共用を認める
16年4月	特区制度により、一定の要件を満たす公立保育所給食の外部搬入を認める(3歳未満児も)
18年10月	認定こども園を構成する保育所での、満3歳以上児の食事の外部搬入を認める。ただし、加熱や保存が可能な調理設備を備えることが条件
22年3月	91市町村475施設で特区による外部搬入実施。うち3歳以上児のみは188施設
22年8月	満3歳以上児の食事に限り、公立・私立問わず外部搬入を認める

調理の手伝いで早起き

愛知県は給食センター方式による外搬の多い土地柄。公立保育所が多いというところもあり、外搬特区は全国70自治体中で4分の1以上を同県内が占める。

給食の配膳が進む保育室に戻り、調理員から得た情報や感想を披露する。「卵がフワフワ」「口のなかで汁がツツツと出て」など当番の発表に、中島美奈子・保育主任は

毎日「評価表」を記録

本年度から、調理室から野菜的な皮むき。調理員に教えるも、いながら4、5歳児が中心になって行

調理員が保育、保育士も調理

「日本ならではの味覚を認識」... 調理員も保育士と... 保育士も調理... 調理員が保育... 保育士も調理

都甲 潔・九州大学大学院教授に聞く(味覚、匂いセンサー開発者) 味覚の嗜好はいつ育まれますか? 生まれつきの赤ちゃんなら脳が条件反射で、苦いものや酸っぱいものに拒絶反応を示し、うまみ、甘みのあるものはおいしそうにする。しかし、離乳食が始まる5、6カ月ごろ

味覚の嗜好育む乳幼児期 効果は? 実験によると「匂い」の嗜好は先天的に嫌悪するものもあるが、3、4歳くらいからの学習



自治体、地域経済の活性化を主張... 「子ども・子育て新システム」でも「総合施設」(仮称)への「自園調理」外搬を進める自治体の

事業には年3500人、在園児以外の親子が参加する。特に、年間40回ほど行うおやつ試食会は人気で、栄養士でもある調理員が担当してき

明照保 05322・311419 せいがの森保 0504 2・670・7167